

令和5年度全国学力・学習状況調査～御浜町の結果概要～

令和5年9月1日

御浜町教育委員会

1. 各教科の「平均正答率」及び「平均正答数」

【小学校】 6年生：57名	国語	算数
御浜町	65% (9.0/14問)	66% (10.5/16問)
三重県	67% (9.4/14問)	62% (9.9/16問)
全国	67.2% (9.4/14問)	62.5% (10.0/16問)
全国平均との差	-2.2 pt	+3.5 pt
平均無回答率（御浜町）	5.4%	1.7%
平均無回答率（全国）	4.8%	3.4%
全国平均無回答率との差	+0.6pt	-1.7pt

【中学校】 3年生：58名	国語	数学	英語
御浜町	64% (9.7/15問)	51% (7.6/15問)	35% (5.9/17問)
三重県	69% (10.3/15問)	51% (7.7/15問)	45% (7.7/17問)
全国	69.8% (10.5/15問)	51% (7.6/15問)	45.6% (7.7/17問)
全国平均との差	-5.8 pt	±0 pt	-10.6 pt
平均無回答率（御浜町）	5.8%	9.3%	7.8%
平均無回答率（全国）	4.6%	9.6%	5.7%
全国平均無回答率との差	+1.2pt	-0.3pt	+2.1pt

～ 平均無解答率の改善について ～

以前は、国語でも算数・数学でも長文の問題が出題されると、問題も読まずに最初から解答をあきらめてしまう児童生徒も少なくありませんでした。

しかし、近年、町内の小中学校では、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックなどのテストで、「わからなかった問題やできなかった問題を、できるようになるまで取り組もう」と、丁寧な指導に取り組んできました。また、定期テストや普通の授業においても、簡単にあきらめてしまわず粘り強く考えようという指導にも丁寧に取り組んできました。

そのような各学校での継続的な指導の結果、今年度の平均無回答率も、算数・数学では全国平均より低くなるなど、ここ数年は町平均無解答率が減少する傾向（粘り強い姿勢で学習に取り組もうとする児童生徒が増えている）にあり、町内児童生徒たちの成長につながっているといえます。

《参考》「標準化得点」による経年変化の比較

全国学力・学習状況調査の各教科の問題は、毎年、問題数や難易度が異なることから、経年変化については、平均正答数や正答率では単純に比較はできません。

そこで、文部科学省作成の「換算ツール」を用いて、全国平均正答率を100とした得点状況を「標準化得点」として算出し、本町における経年変化を下の表のとおりまとめました。

小学校	<i>R5</i>	R4	R3	R1	中学校	<i>R5</i>	R4	R3	R1
国語	99	96	96	99	国語	98	98	99	99
算数	101	97	97	101	数学	100	99	101	100
					英語	95			99
全国	100	100	100	100	全国	100	100	100	100

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

- ▶ 小学校では、国語、算数ともに R4 年度より高得点となっており、算数では全国平均を超え、国語についてもその差は 1 pt にまで迫っています。
- ▶ 中学校では、R4 年度と比較すると、国語は同得点、数学は 1pt 上回りました。全国との比較でも 98、100 点とほぼ平均に近い得点となっています。一方で、英語については、前回実施の R1 年度と比較すると 4pt 下回る結果となりました。

2. 各教科における傾向

【**小学校**】 全国と比べ 「○」…比較的できている点 「●」…課題のある点

国語	<p>○全国より高い…<u>思考力・判断力・表現力「A 話すこと・聞くこと」</u> [問題番号 3 二 (記述式)] 「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」は、正答率 77.2% (同全国 70.2%) と、全国平均を 7pt 上回る</p> <p>●全国より低い…<u>知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」</u> [問題番号 1 三 (短答式)] 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」については、(1) ア : 正答率 45.6% (同全国 52.8%) (1) イ : 正答率 61.4% (同全国 72.6%) と全国平均をそれぞれ 7.2, 11.2pt 下回る</p>
	<p>○全国より高い…<u>「C 変化と関係」</u> [問題番号 1 (3) (記述式)] 「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」については、正答率 78.9% (同全国 55.5%) と全国平均を 23.5pt 上回る</p> <p>●全国より低い…<u>「B 図形」</u> [問題番号 2 (3) (短答式)] 「正三角形の意味や性質についての理解」は、正答率 12.3% (同全国 24.9%) と全国平均を 12.6pt 下回る</p>

【**中学校**】

国語	<p>○全国より高い…<u>思考力・判断力・表現力「A 話すこと・聞くこと」</u> [問題番号 1 一 (選択式)] 「目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる」は、正答率 93.1% (同全国 87.5%) と、全国平均を 5.6pt 上回る</p> <p>●全国より低い…<u>知識及び理解「(3) 我が国の言語文化に関する事項」</u> [問題番号 4 一 (短答式)] 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる」は、正答率 57.2% (同全国 82.5%) と、全国平均を 15.3pt 下回る</p>
	<p>○全国より高い…<u>D データの活用</u> [問題番号 7 (1) (短答式)] 「四分位範囲の意味を理解しているか」は、正答率 77.6% (同全国 65.7%) と、全国平均を 11.9pt 上回る</p> <p>●全国より低い…<u>D データの活用</u> [問題番号 7 (2) (短答式)] 「累積度数の意味を理解している」は、正答率 29.3% (同全国 46.1%) と、全国平均を 16.8pt 下回る</p>
英語	<p>●全国より低い…<u>(1) 聞くこと</u> [問題番号 1 (選択式)] 「情報を正確に聞き取ることができる」は、(1) 正答率 69.0% (同全国 79.0%) (2) 正答率 46.6% (同全国 64.4%) (3) 正答率 36.2% (同全国 49.8%) と、それぞれ全国平均を 10pt, 17.8pt, 13.6pt 下回る</p> <p>●全国より低い…<u>(5) 書くこと</u> [問題番号 9 (短答式)] 「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つように英文を完成させる等」は、(1) ①正答率 31.0% (同全国 40.4%)、(1) ②正答率 6.9% (同全国 20.9%)、(2) 正答率 3.4% (同全国 29.0%) と、全国平均をそれぞれ 9.4pt, 14.0pt, 25.6pt 下回る</p>

*町全体としての各教科における傾向は、このような成果や課題が挙げられます。一方で、各学校における成果や課題については、それぞれの学校ごとに特徴や傾向が見られますので、今後も各学校において詳細な分析・検討に取り組み、県教育委員会とも連携しながら、今回の調査結果を指導方法の改善に生かせるよう指導・支援していく予定です。

3. 質問紙調査（小学生・中学生）における特徴的な傾向

* 回答はすべて肯定的な回答の割合

① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

【小学生】

質問項目	R5	R4	前年との比較
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	68.5%	54.5%	+14.0pt
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	87.7%	72.8%	+14.9pt
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	84.2%	69.1%	+15.1pt

【中学生】

質問項目	R5	R4	前年との比較
1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	75.8%	72.3%	+3.5pt
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	82.7%	80.6%	+2.1pt
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	79.3%	88.9%	-9.6pt

◎町内の小中学校では、児童や生徒たちが工夫して発表したり、課題解決に向けて主体的に取り組んだり、話し合いで考えを深めたりする学習場面を積極的に取り入れながら、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に取り組んでいる様子が、子どもたちの声からも実感することができる。また、前年との比較では、特に小学校において大きな改善が見られる。

② ICT 機器を活用した学習状況

【小学生】

質問項目	R5	R4	前年との比較
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか (回答:「ほぼ毎日」の割合)	42.1%	21.8%	+20.3pt
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	98.2%	94.5%	+3.7pt

【中学生】

質問項目	R5	R4	前年との比較
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか (回答:「ほぼ毎日」の割合)	67.2%	33.3%	+33.9pt
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	98.3%	92.6%	+5.7pt

◎ICT機器を活用した学習状況については、小中ともに「ほぼ毎日」授業で使用している割合が前年と比較しても大きく伸びており、ICT機器を活用した授業や学習が日常的になりつつある。また、この割合は全国平均を大きく上回っている。【全国平均：小学校28.2%・中学校28.1%】

◎さらに、98%以上の児童生徒が「ICT機器の活用は勉強に役立つ」と回答していることから、各学校においてタブレット端末がより効果的に利活用されている様子がわかる。今後も継続して効果的なICT機器の利活用を推進していきたい。

③ 児童生徒の自己有用感や目的意識に関する状況

【小学生】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思う	78.9%	83.5%	-4.6pt
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89.5%	89.8%	-0.4pt
将来の夢や希望を持っていますか	87.7%	81.5%	+6.2pt

【中学生】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思う	67.3%	80.0%	-12.7pt
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.9%	87.3%	+0.6pt
将来の夢や希望を持っていますか	58.7%	66.3%	-7.6pt

◎児童生徒ともに全国平均と比べて自己有用感が低く、自分に自信が持てない児童生徒が多い傾向にある。しかし、先生がよいところを認めてくれると思っている子どもたちも90%前後いるので、教師との関わりの中で自己有用感が高められるような指導を心がけるようにしたい。

◎また、進路選択を控えた中学3年生にとって重要な目的意識が全国平均より低いため、今後のキャリア教育(進路指導)に取り組む中で、将来への意欲や関心を高めるよう指導していく必要がある。

④ 学習習慣・家庭学習に関する状況

【小学生】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.9%	70.7%	-5.8pt
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	49.1%	57.1%	-8.0pt
学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	38.7%	52.5%	-13.8pt
読書は好きですか	74.2%	71.8%	+2.4pt

【中学生】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	43.1%	55.0%	-11.9pt
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	48.2%	65.8%	-17.6pt
学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	32.6%	65.3%	-32.7pt
読書は好きですか	70.2%	66.0%	+4.2pt

◎児童生徒ともに、家庭学習に計画的に取り組む意欲や姿勢については、昨年度に引き続き、肯定的な回答が全国平均を下回る結果となった。学力・学習状況調査だけでなく、通常の定期テスト等でもよい結果を得るためにも、家庭学習を充実させて、学習内容を定着させていくことは大切と言える。今後も、タブレットの活用などの工夫にも取り組みながら、各家庭にも協力と理解をお願いし、家庭学習の習慣化を図りたい。

◎一方で、昨年度、吉田久市さんの寄付による「吉田文庫」が町内各小中学校に設置され、読書環境がたいへん充実した。読書習慣については、その影響もあり、全国平均を上回る結果となったと考えられる。

⑤ 地域との関わり、社会への関心に関する状況

【小学生】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
今住んでいる地域の行事に参加している	61.5%	57.8%	+3.7pt
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	84.2%	76.8%	+7.47pt

【中学生】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
今住んでいる地域の行事に参加している	63.8%	38.0%	+25.8pt
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	72.4%	63.9%	+8.5pt

◎令和4年度はまだコロナ禍が続く状況であったが、各学校では、感染症対策に係る過去2年間の経験やノウハウを生かし創意工夫を凝らしながら、保護者、地域の方との交流や体験学習に取り組んだ成果が、全国平均を大きく上回る結果へとつながっていると考えられる。

◎とくに、みはま音頭体験学習や、第6次御浜町総合計画について学ぶ主権者教育などの取組が、子どもたちの「地域や社会をよくするため…」と思う意識の向上にも関係していると考えられる。町としても、今後もこれらの主権者教育を推進していきたい。

4. 今後の町教育委員会の取組（改善に向けて）

町教育委員会では、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果から、児童生徒の学力・生活習慣や各学校の授業改善の取組の成果と課題をとらえ、教育施策に反映していく予定です。具体的には、次のような年間を通じて各学校の主体的な取組を支援する「授業力向上支援事業」を中心に、組織的・継続的に学力向上の取組を進めていきます。

① 授業改善を目的とした公開授業研究会の開催、県内外の「学びの共同体」研修会等への参加、先進校視察

- ・「学びの共同体」の理念に基づいた授業改革を目指すため、著名な大学教授等をスーパーバイザーとして招聘した公開授業研究会を、町内全校が連携しながら、年間を通じて計画的に開催する。（各校年3回の開催）
- ・学びの共同体研究大会等への参加や先進校視察などを通じて研修を深め、授業改善に努める。

② 全国学力・学習状況調査・みえスタディ・チェックの活用

- ・子どもたちの自己有用感を大切に、前向きに挑戦し学び続ける児童・生徒を育成するため、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用した事前・事後の取組をすすめ、その分析結果を基に指導法の改善に取り組む。

③ 町全体としての組織的・系統的な研修体制の構築

- ・校種や規模の異なる町内他校の公開授業研究会への参加や、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用した授業改善及びその取組の共有によって、町全体として組織的な研修体制の構築をすすめる。

今後も、県教育委員会と連携しながら、これらの事業等を充実させ、教師の授業力の向上を図るとともに、町内児童生徒のよりよい学びに向けた各学校の取組への指導・支援に取り組んでまいります。